

H28 議会アンケートの結果について

議会活性化特別委員会

「アンケートの実施について ～御礼～」

加賀市議会では、平成23年4月に議会基本条例を制定し、「開かれた議会」や「市民が参加する議会」を目指し、様々な議会改革の取り組みを行ってきました。

今回、これまでの議会での取り組みの検証と今後の議会活動・議会運営への課題整理のため、平成25年度に続き、2回目のアンケートを実施したところ、市民の皆様から多くのご意見をいただき、誠にありがとうございました。

今回の結果について、議会全体で情報を共有し、今後の議会活動・議会運営に活かしていきたいと考えております。

お忙しい中、アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力いただきました皆様方に対しまして、厚く御礼を申し上げます。

「調査の方法・状況」

- | | |
|-----------|---------------------------------------|
| 1. 調査地域 | 加賀市全域 |
| 2. 調査対象 | 市内に在住する18歳以上の方 |
| 3. 調査方法 | 住民基本台帳からの無作為抽出による無記名アンケート |
| 4. 調査期間 | 平成28年8月～9月 |
| 5. 調査対象者数 | 1,500人 |
| 6. 回答数 | 514人 ※回収率：34.27%（前回(H25)：425人、28.33%） |

「調査項目」

- | | |
|--------------------------|--------|
| 1. 調査対象者 | 問1～3 |
| 2. 市議会の関心度の把握 | 問4 |
| 3. 市議会だよりの読書率の把握 | 問5 |
| 4. 市議会の傍聴や視聴に対する把握 | 問6～8 |
| 5. 市議会の効果的な情報発信の把握 | 問9 |
| 6. 市議会に対する評価の把握 | 問10 |
| 7. 議会改革の取り組みに対する評価・意向の把握 | 問11、12 |
| 8. 市議会への全体的な意見・要望の把握 | 問13 |

「集計表の見方(注意事項)」

1. 今回のアンケートは、各質問に対する回答を単純計算しています。
2. 問12は複数回答となっており、回答者数が全体数を上回っています。

「アンケートの分析」

次ページからは、前回調査（H25）との比較や、年代別での集計など、議会活性化特別委員会による分析を記載してあります。

設問1～3 性別・年代・地区について

- ・男性、女性の割合については、概ね同様の回答率であった。
- ・年代については、60代が50%の回答率と高く、10代・20代は10%台の回答率と低いものであった。また、20代のみが前回(H25)の回答率を下回っていた。
- ・地区については、山代の回答率が20%台と若干低かったが、概ね同様の回答率であった。

性別	発送数	回答数	回答率(回答数/発送数)	前回(H25)回答率
男性	729件	250件	34.29%	28.15%
女性	771件	258件	33.46%	27.74%
合計	1,500件	508件	33.87%	27.93%

※回答数には「無回答」を含んでいない。

年代	発送数	回答数	回答率(回答数/発送数)	前回(H25)回答率
10代	32件	6件	18.75%	—
20代	149件	24件	16.11%	21.02%
30代	171件	44件	25.73%	20.93%
40代	237件	59件	24.89%	23.98%
50代	214件	80件	37.38%	32.80%
60代	298件	149件	50.00%	34.33%
70代	222件	87件	39.19%	31.01%
80代	177件	64件	36.16%	30.00%
合計	1,500件	513件	34.20%	28.27%

※回答数には「無回答」を含んでいない。

※前回(H25)は20歳以上を対象とした。

中学校区	発送数	回答数	回答率(回答数/発送数)	前回(H25)回答率
錦城	372件	125件	33.60%	30.51%
山代	364件	109件	29.95%	25.43%
片山津	202件	74件	36.63%	24.14%
東和	303件	117件	38.61%	31.21%
橋立	66件	22件	33.33%	23.21%
山中	193件	63件	32.64%	28.33%
合計	1,500件	510件	34.00%	27.87%

※回答数には「無回答」を含んでいない。

設問4 関心度について

全体では、議会に関心がある人は64.6%（前回54.8%）、関心がない人は35.0%（前回43.3%）と、前回調査よりも10%増の60%を超える人が、議会に関心があるとの結果であった。

しかし、年代別で見ると、60代以上の約70%の人は議会に関心があるが、30代・50代で50%、20代・40代で約40%、10代で20%弱と、若年になるにつれて、関心度が低くなっている。

今後は、若年層にも関心をもってもらうことが大切であり、若者の市政参加（議会の関心度アップ）にも取り組んでいく必要がある。

《年代別結果》

選択項目		関心がある	少し 関心がある	あまり 関心がない	まったく 関心がない	無回答	合計
10代	人数	0人	1人	1人	4人	0人	6人
	構成比	0.0%	16.7%	16.7%	66.7%	0.0%	100.0%
20代	人数	1人	9人	9人	5人	0人	24人
	構成比	4.2%	37.5%	37.5%	20.8%	0.0%	100.0%
30代	人数	4人	18人	17人	5人	0人	44人
	構成比	9.1%	40.9%	38.6%	11.4%	0.0%	100.0%
40代	人数	6人	20人	29人	4人	0人	59人
	構成比	10.2%	33.9%	49.2%	6.8%	0.0%	100.0%
50代	人数	14人	26人	37人	3人	0人	80人
	構成比	17.5%	32.5%	46.3%	3.8%	0.0%	100.0%
60代	人数	43人	74人	24人	7人	1人	149人
	構成比	28.9%	49.7%	16.1%	4.7%	0.7%	100.0%
70代	人数	31人	36人	16人	4人	0人	87人
	構成比	35.6%	41.4%	18.4%	4.6%	0.0%	100.0%
80代 以上	人数	19人	30人	10人	5人	0人	64人
	構成比	29.7%	46.9%	15.6%	7.8%	0.0%	100.0%
無回答	人数	0人	0人	0人	0人	1人	1人
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
総計	人数	118人	214人	143人	37人	2人	514人
	構成比	23.0%	41.6%	27.8%	7.2%	0.4%	100.0%

《前回（H25）の構成比》

関心がある（16.7%）、少し関心がある（38.1%）、あまり関心がない（34.1%）、まったく関心がない（9.2%）、無回答（1.9%）

設問5 議会だよりについて

全体では、どの記事も読む・関心のあるところだけ読むという人は71.4%（前回59.3%）と、前回調査よりも10%増の70%を超える人が、議会だよりを手にとり、読んでいることが分かる。

しかし、年代別で見ると、60代・70代の80%以上の人は議会だよりを読んでいるが、50代・80代以上で約70%、40代で約60%、30代で50%を切り、若年になるにつれて、議会だよりの読書率が低くなっている。

このことは、議会関心度の結果とも比例していることから、今後は、若年層にも関心をもってもらい、議会だよりを手にとってもらえるようにすることが大切である。

また、今年度から、議会だよりを増ページ（8ページ→12ページ）・フルカラーとし、議会だよりの充実・強化を図ってきたが、今回の調査結果のとおり、多くの人を読んでいることから、引き続き、議会だよりの充実・強化を図っていくべきである。

《年代別結果》

選択項目		どの記事も読む	関心のあるところだけ読む	ほとんど読まない	知らない・見たことがない	無回答	合計
10代	人数	0人	0人	0人	6人	0人	6人
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
20代	人数	0人	6人	7人	11人	0人	24人
	構成比	0.0%	25.0%	29.2%	45.8%	0.0%	100.0%
30代	人数	1人	19人	17人	7人	0人	44人
	構成比	2.3%	43.2%	38.6%	15.9%	0.0%	100.0%
40代	人数	5人	31人	17人	6人	0人	59人
	構成比	8.5%	52.5%	28.8%	10.2%	0.0%	100.0%
50代	人数	13人	44人	19人	4人	0人	80人
	構成比	16.3%	55.0%	23.8%	5.0%	0.0%	100.0%
60代	人数	31人	96人	17人	4人	1人	149人
	構成比	20.8%	64.4%	11.4%	2.7%	0.7%	100.0%
70代	人数	21人	52人	14人	0人	0人	87人
	構成比	24.1%	59.8%	16.1%	0.0%	0.0%	100.0%
80代以上	人数	11人	37人	11人	4人	1人	64人
	構成比	17.2%	57.8%	17.2%	6.3%	1.6%	100.0%
無回答	人数	0人	0人	0人	0人	1人	1人
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
総計	人数	82人	285人	102人	42人	3人	514人
	構成比	16.0%	55.4%	19.8%	8.2%	0.6%	100.0%

《前回（H25）の構成比》

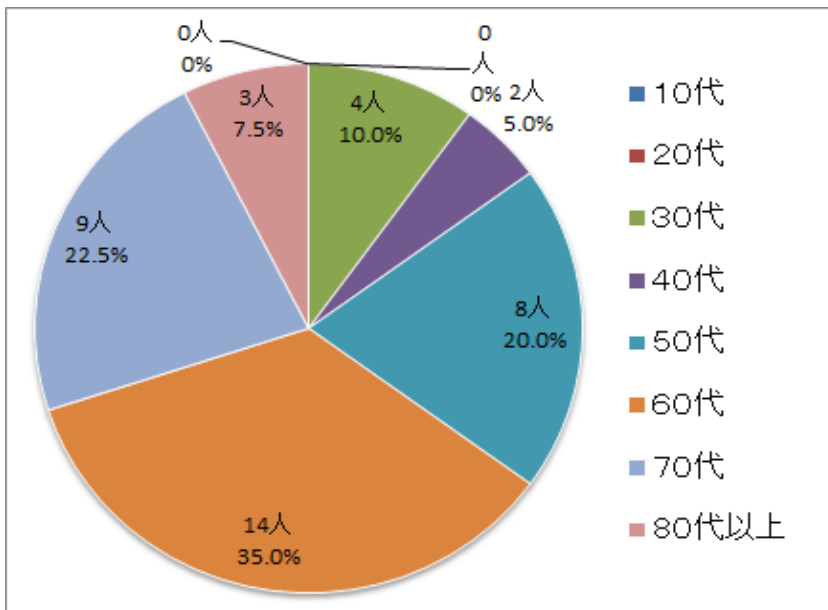
どの記事も読む（13.9%）、関心のあるところだけ読む（45.4%）、ほとんど読まない（28.0%）、知らない・見たことがない（11.1%）、無回答（1.6%）

設問 6、7 インターネット・ケーブルテレビ中継について

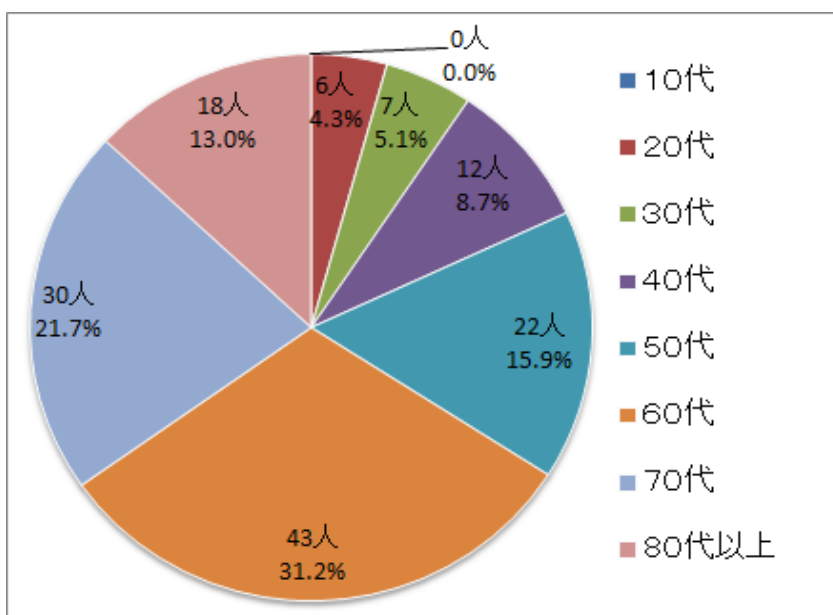
インターネットで議会中継を見たことがある人は7.8%（前回2.0%）と、前回調査よりも伸びたものの、以前としてインターネット中継の視聴率は低いものであった。なお、ケーブルテレビで見たことがある人は26.8%（前回26.6%）と、前回調査同様の推移であった。

年代別で見ても、10代・20代はインターネット中継を見たことがなく、議会の関心度と比例し、近年のネット社会の中でも、興味・関心がなければ見ないということが顕著に表れている。

《インターネットの議会中継を見たことがある人の年代別表》



《ケーブルテレビの議会中継を見たことがある人の年代別表》



《前回（H25）の市議会の会議を見たかどうか》

インターネットで見たことがある（2.0%）、ケーブルテレビで見たことがある（26.6%）

設問8 日曜議会・夜間議会等の開催について

前回の調査結果と比較すると、「土曜日の日中」「日曜日の日中」に傍聴へ行こうという人は、前回同様の結果で推移しているが、「平日の夜」に傍聴へ行こうという人は前回よりも大きく下回る結果となった。また、傍聴しないという人も大きく増えている。

これまで、平成23年12月、平成24年6月に日曜議会を、平成27年6月に土曜・日曜議会を開催してきたが、今後、多くの人に議会を傍聴して（見て）もらう取り組みを行う場合は、夜間議会の開催よりも、土曜・日曜議会の開催を進めていくよう検討すべきである。

《調査結果（前回比較）》

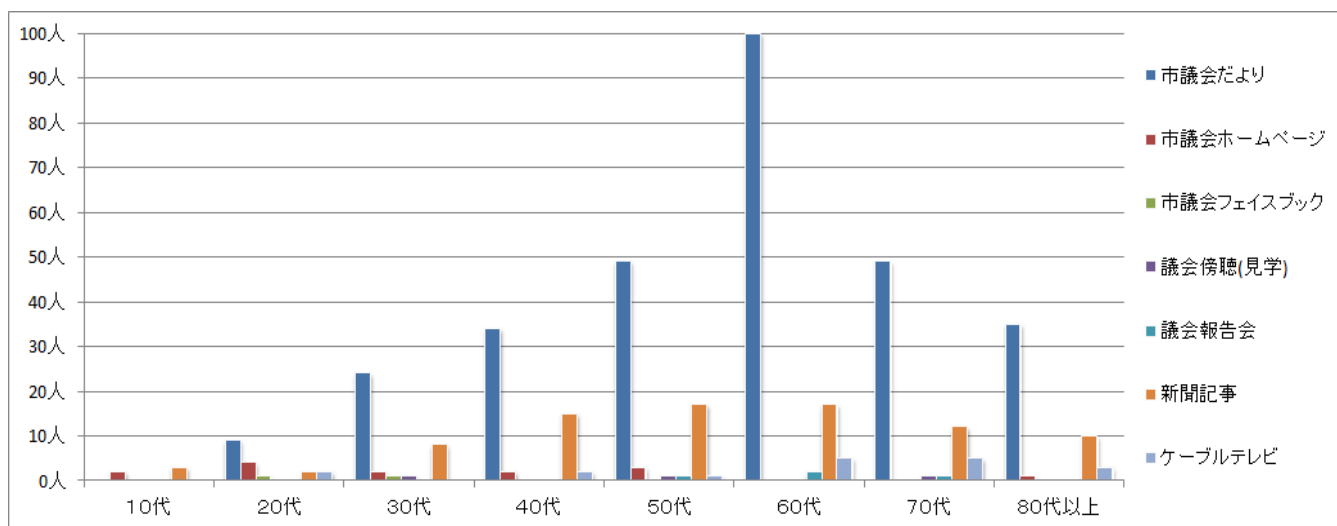
選択項目	回答数	構成比	前回(H25)
日曜日の日中に開催	61人	11.9%	11.6%
日曜日の夜に開催	4人	0.8%	0.4%
平日の夜に開催	43人	8.4%	14.1%
土曜日の日中に開催	63人	12.3%	13.5%
土曜日の夜に開催	35人	6.8%	6.4%
傍聴はしない	281人	54.7%	46.8%
無回答	27人	5.3%	7.1%
合計	514人	100.0%	100.0%

設問9 市議会の一歩の情報源について

今回、新たに追加した調査項目だが、一番の情報源は、圧倒的に「議会だより」であった。議会だよりについては、平成28年度から増ページ・フルカラーにするなどの充実・強化を図ってきたが、引き続き、充実・強化に取り組んでいくべきである。

また、年代別で見ると、10代・20代では「ホームページ」の回答も多く、若者に対してはホームページが有効と考える。

《年代別結果》



選択項目	議会だより	ホームページ	フェイスブック	議会傍聴	議会報告会	新聞記事	ケーブルテレビ	その他	無回答	合計
10代	人数 0人 構成比 0.0%	人数 2人 構成比 33.3%	人数 0人 構成比 0.0%	人数 0人 構成比 0.0%	人数 0人 構成比 0.0%	人数 3人 構成比 50.0%	人数 0人 構成比 0.0%	人数 1人 構成比 16.7%	人数 0人 構成比 0.0%	人数 6人 構成比 100.0%
20代	人数 9人 構成比 37.5%	人数 4人 構成比 16.7%	人数 1人 構成比 4.2%	人数 0人 構成比 0.0%	人数 0人 構成比 0.0%	人数 2人 構成比 8.3%	人数 2人 構成比 8.3%	人数 2人 構成比 8.3%	人数 4人 構成比 16.7%	人数 24人 構成比 100.0%
30代	人数 24人 構成比 54.5%	人数 2人 構成比 4.5%	人数 1人 構成比 2.3%	人数 1人 構成比 2.3%	人数 0人 構成比 0.0%	人数 8人 構成比 18.2%	人数 0人 構成比 0.0%	人数 5人 構成比 11.4%	人数 3人 構成比 6.8%	人数 44人 構成比 100.0%
40代	人数 34人 構成比 57.6%	人数 2人 構成比 3.4%	人数 0人 構成比 0.0%	人数 0人 構成比 0.0%	人数 0人 構成比 0.0%	人数 15人 構成比 25.4%	人数 2人 構成比 3.4%	人数 2人 構成比 3.4%	人数 4人 構成比 6.8%	人数 59人 構成比 100.0%
50代	人数 49人 構成比 61.3%	人数 3人 構成比 3.8%	人数 0人 構成比 0.0%	人数 1人 構成比 1.3%	人数 1人 構成比 1.3%	人数 17人 構成比 21.3%	人数 1人 構成比 1.3%	人数 1人 構成比 1.3%	人数 7人 構成比 8.8%	人数 80人 構成比 100.0%
60代	人数 100人 構成比 67.1%	人数 0人 構成比 0.0%	人数 0人 構成比 0.0%	人数 0人 構成比 0.0%	人数 2人 構成比 1.3%	人数 17人 構成比 11.4%	人数 5人 構成比 3.4%	人数 1人 構成比 0.7%	人数 24人 構成比 16.1%	人数 149人 構成比 100.0%
70代	人数 49人 構成比 56.3%	人数 0人 構成比 0.0%	人数 0人 構成比 0.0%	人数 1人 構成比 1.1%	人数 1人 構成比 1.1%	人数 12人 構成比 13.8%	人数 5人 構成比 5.7%	人数 4人 構成比 4.6%	人数 15人 構成比 17.2%	人数 87人 構成比 100.0%
80代以上	人数 35人 構成比 54.7%	人数 1人 構成比 1.6%	人数 0人 構成比 0.0%	人数 0人 構成比 0.0%	人数 0人 構成比 0.0%	人数 10人 構成比 15.6%	人数 3人 構成比 4.7%	人数 1人 構成比 1.6%	人数 14人 構成比 21.9%	人数 64人 構成比 100.0%
無回答	人数 0人 構成比 0.0%	人数 0人 構成比 0.0%	人数 0人 構成比 0.0%	人数 0人 構成比 0.0%	人数 0人 構成比 0.0%	人数 0人 構成比 0.0%	人数 0人 構成比 0.0%	人数 0人 構成比 0.0%	人数 1人 構成比 100.0%	人数 1人 構成比 100.0%
総計	人数 300人 構成比 58.4%	人数 14人 構成比 2.7%	人数 2人 構成比 0.4%	人数 3人 構成比 0.6%	人数 4人 構成比 0.8%	人数 84人 構成比 16.3%	人数 18人 構成比 3.5%	人数 17人 構成比 3.3%	人数 72人 構成比 14.0%	人数 514人 構成比 100.0%

設問 10 市民の意見反映について

前回の調査結果と比較すると、微増ではあるものの、ほとんどの人が「思わない」や「わからない」との回答であった。まだまだ議会に対する信頼が低く、議会を知らない・関心がない人も多数いる結果となった。また、「意見をどう伝えればいいのか分からない」「議員と顔を合わす機会がない」といった記述意見も多数あった。

この結果は、市民の率直な意見であり、今後、「市民が参加する議会」を進め、信頼を高めていくことが大切である。また、「開かれた議会」にも取り組み、少しでも議会を知ってもらい、身近に感じてもらうようにすべきである。

そして、積極的に地域へ出向き、市民の意見を汲み取り、市民の代表として、今後の議会活動・議会運営をしていくことが大切であると考えます。

《調査結果（前回比較）》

選択項目	回答数	構成比	前回(H25)
思う	11	2.1%	0.9%
やや思う	86	16.7%	16.2%
思わない	220	42.8%	43.8%
わからない	182	35.4%	35.5%
無回答	15	2.9%	3.5%
合計	514人	100.0%	100.0%

設問 11 市議会の活動状況の評価について

前回の調査結果と比較すると、約10%増で評価が高まり、これまでの議会活性化の取り組み等に一定の効果があったものの、以前として半数に満たない41.8%（前回28.9%）の評価であった。また、「わからない」という人が35.8%（前回45.2%）と、まだまだ議会への関心度が低い結果であった。

《調査結果（前回比較）》

選択項目	回答数	構成比	前回(H25)
大いに評価する	30人	5.8%	0.7%
ある程度評価する	185人	36.0%	28.2%
あまり評価しない	66人	12.8%	18.6%
まったく評価しない	24人	4.7%	4.9%
わからない	184人	35.8%	45.2%
無回答	25人	4.9%	2.4%
合計	514人	100.0%	100.0%

設問 12 議会の取り組みについて

前回の調査結果と比較すると、政策提言の強化は落ちたものの、今回も上位項目は同じものであった。

しかし、前回は、1位の「議員数・報酬の検討」と2位の「市民の意向把握・調査」が多数を占めていたが、今回は、「市民の意向把握・調査」が1位、次に「議員数・報酬の検討」となり、「監視機能の強化」「調査機能の強化」までの上位項目には、前回ほどの大きな差はなかった。

また、「議会報告会」や「議会だよりの充実」も上位になっていることから、引き続き、議会報告会を定期的に行うとともに、議会だよりの充実・強化を図っていくことが大切である。

《調査結果（前回比較）》

選択項目	回答数	構成比	前回(H25)構成比/順位
①意見交換会や意向調査（アンケート）を行い、市民の意向を把握・反映していくこと	219人	17.6%	24.5%/2位
②議員の定数や報酬等の見直しを検討すること	210人	16.9%	24.7%/1位
③市政のチェックを強化すること（監視機能の強化）	157人	12.6%	7.2%/4位
④様々な分野の勉強や調査を行い、市政反映につなげる こと（調査機能の強化）	151人	12.2%	4.6%/6位
⑤議会報告会等を開催し、市議会での活動報告を市民に 伝えること	95人	7.6%	6.0%/5位
⑥市議会だより(年4回)の充実や発行回数の増加により 情報発信を強化すること	84人	6.8%	3.0%/9位
⑦議会(委員会)を各施設(地区会館等)で開催し、市民が議 会を見学しやすい環境をつくること	59人	4.8%	1.6%/13位
⑧議会で政策提言や政策条例を策定すること（政策提言 の強化）	58人	4.7%	11.1%/3位
⑨休日や夜間などに議会を開催し、市民が議会を見学し やすい環境をつくること	56人	4.5%	4.2%/7位
⑩子ども議会や女性議会などの模擬議会の開催により、 議会への興味・関心を高めること	47人	3.8%	4.2%/7位
⑪インターネット等の活用により情報発信を強化するこ と（ホームページの充実等）	34人	2.7%	1.8%/12位
⑫通年議会を導入し、議会をいつでも開催できるように すること(議会の権限強化)	22人	1.8%	2.0%/11位
その他	15人	1.2%	1.2%
無回答	35人	2.8%	0.6%
計	1,242人	100.0%	100.0%

設問 13 市議会へのご意見・要望について

様々なご意見を多数いただいた。

これら意見については、議員各人及び議会全体として、しっかりと受けて止めていくべきものである。

総括

全体的には、議会への関心度が前回調査（H25）と比べ 10%増加し、65%近くの市民が議会に関心を持っており、徐々にではあるが議会への関心度が高まってきている。しかし、年代別で見ると、若年層の関心度は依然として低く、議会での取り組みを知らない人も多数いる。今後は、いかに若年層にも関心を持ってもらえるかを考えていくことが大切である。

ただし、議会への関心度が高まっている一方、市民の意見が反映されていると思う人は 20%を切っており、市民の議会への満足度は低調な結果となっている。今後は、いかに市民満足度を高めていけるかが重要であり、また、「どこに、どのように意見を出せるかが分からない」といった意見も多数あり、議会をもっと身近に感じてもらうことも大切と考える。

また、70%以上の方が議会だよりの読み、圧倒的に議会の一番の情報源であることを再認識できたことは、今回のアンケート実施による状況把握の一つの効果であった。今年度から、増ページ・フルカラー等、議会だよりの充実・強化に取り組んできたが、今後も引き続き、議会だよりの充実・強化を図っていかなければならない。

なお、全体的には割合が低いが、若年層における議会の一番の情報源として、ホームページが有効であるという結果も見逃してはならない。よって、議会だより同様、ホームページでの情報発信も充実・強化していくべきである。

議会改革については、今回のようなアンケートによる意向調査や意見交換会・議会報告会を開催していくことが、市民から求められているものであり、「開かれた議会」や「市民が参加する議会」を進めていくための大切な取り組みであることから、今後も、継続していくことが大切である。

今回のアンケートによって、これまでの取り組みについて、市民の率直な意見をもらうことができ、さらに、今後進めていくべき議会としての課題や、効果的な情報発信も把握することができたことは、大変良かった。

今回の調査結果を踏まえ、今後もより良い議会活動・議会運営をしていかなければならない。